

「町内のみなさん。あけましておめでとうございます。日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。日頃よりあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。本年もどうぞよろしく願っています。

わっ、みなさん。

いま、庄原市政の一番大きな問題は、昨年末の株式会社シユオンの事実上の倒産の問題です。

この会社は、木材をつかって、エタノールやリグニンなどを製造するという、新技術を売り物にしてきた中小企業で、市長は、「この会社は大丈夫だ」と繰り返し説明し、国の補助金約5億円を、庄原市を通じて、投入してきました。

これが、倒産したとなると、補助金適正化法により、約5億円の国の補助金を、庄原市が返還しなければならなくなります。

市長は、シユオンについて、本当に適正な審査をおこなっていたのか、その政治的責任は重大です。また、これを認めてきた市議会の責任も当然に問われます。

私たち日本共産党は、その事実経過と責任の所在を明らかにするため全力をつくしてまいります。

第二は、三楽荘の問題です。東城のまちなかを活性化するため、えびすという施設を、9千万円かけて新築する計画がすすんでいたとき、市長が、突如として、三楽荘を買い取り整備することを決め、これにも、1億7千万円の市税を投入してきました。

私たち日本共産党は、両方の施設を整備するのは、無理があることを指摘し、えびすの新築か、三楽荘の整備か、どちらか一つだけにするよう、つよく求めてまいりました。

第三は、庄原中学校、庄原保育所の新築が決まりました。

私たちは、地震に耐えない、雨漏りのする、老朽施設だとして、その新築を繰り返し求めてきました。

庄原中学校は、内装に木材を多用した、ぬくもりのある学校になる予定です。

庄原保育所は、初めての本格的な木造建築の、子どもにも、環境にも優しい、平屋建ての保育所になる予定です。子どもたちの喜ぶ顔を一日も早くみたいと願っています。

私たち日本共産党は、「みなさんの声で動く市政」を実現するため、今年も全力をつくしてまいります。

「町内のみなさん。じいじちゃん、力を合わせ、市民本位の市政に変えていくことではありませんか。

」ご清聴いただき誠にありがとうございます。ごじか、今年もよろしく願っています。